

報告書サンプル

調査報告書

2000年00月00日

0000株式会社
知的財産部
0000 様

〒160-0022 東京都新宿区西新宿 2-8-1
新宿セブンビル 8F
特許業務法人 I P - F O C U S
担当 弁理士 〇〇 〇〇
調査担当 〇〇 〇〇
Tel:03-6869-7736 Fax:03-6869-7737

平成30年度中小企業等特許情報分析活用支援事業 特許情報分析報告書（審査請求段階）

1. 調査対象

案件番号	0000	受注日	2018.00.00
		入金確認日	2018.00.00
発明の名称	孔開け工具	出願の状態	審査中（審査請求期限0000）
出願番号	特願2000-0000000	出願日	2015.10.24
公開番号	特開2000-0000000	出願人	0000株式会社
代理人	0000	発明者	0000
発明の概要	<p>【請求項1】 A. . . . 係合手段と、 B. . . . らごう部と、 C. . . . テーパ部とを備え、 D. . . . ピン。</p> <p>【調査対象の把握】 【発明の技術的特徴（調査観点）】 くさび状のテーパ部を有するもの。（上記構成C）</p> <p>【作用効果】 刃先の位置を容易に微調整することができる。</p>		【図】

2. 結果

(1) 評価

請求項	特許性	備考
請求項1	進歩性なし	
請求項2	進歩性なし	
請求項3	進歩性なし	
備考		

(2) 発見された公報

No.	公報番号	開示内容
①	特開〇〇-〇〇〇号 公開日: 〇〇〇〇 出願人: 〇〇〇〇〇 未審査請求により取下擬制	【0018】・・・ ☒
②	特開〇〇-〇〇〇号 公開日: 〇〇〇〇 出願人: 〇〇〇〇〇 拒絶査定により消滅	【請求項1】・・・ ☒
<p><請求項1について> 【一致点】</p> <p>抽出した公報との「一致点」、「相違点」、「論理づけ」 を項目分けてして見やすく記載しています。</p> <p>【相違点】</p> <p>【論理付け】</p> <p>【結論】 従いまして、本件出願の請求項1は、進歩性なしとして拒絶される可能性が高いと考えます。</p> <p>【提言】 本件発明について特許取得するためには、・・・</p> <p>単に特許出願が特許されるか否かの判断だけではなく、特許事務所の強みを生かして、特許権の効力範囲の最大化に寄与する「次に打つべき手段」をご提案させていただきます。</p>		

3. 調査範囲

調査対象	特許公報、公開特許公報、実用新案公報、公開実用新案公報
使用DB	J P l a t P a tによる特許分類検索（F I ・ F ターム検索）
調査期間	<p>公報発行日：〇〇〇〇年〇〇月〇〇日（出願日）以前のもの</p> <p>【J P l a t P a t 蓄積データ】</p> <p>特許（公告） 大正11年以降 特許公開 昭和46年以降</p> <p>特許公表 昭和54年以降</p> <p>実用公開 昭和46年以降 実用公表 昭和54年以降</p> <p>実用登録（公告）・登録実用 大正11年以降</p> <p>再公表 昭和54年以降</p>
検索式	<p>①B23B29/034@A ヒット件数 168hit （半径方向に移動する工具をもつもの、弾性変形により工具をせりだすもの）</p> <p>②3C046PP03 ヒット件数 254hit （刃先突出量の調整）</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>スクリーニング件数 合計〇〇〇ヒット</p>

4. 添付書類

公報①及び② 各1通
 一次抽出リスト 1通

以上